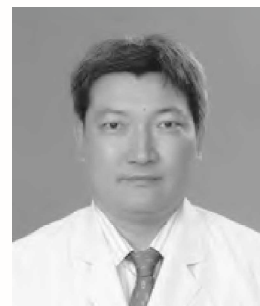


# 聖隷三方原病院内科専門研修プログラム (聖隷三方原病院)

## 1 はじめに

静岡県西部、中東遠医療圏の医療機関にて構成しているプログラムです。基幹施設において豊富な症例経験が可能であると同時に、連携施設には地域の医療を支える施設に参加いただき、充実した研修ができるものになっています。総合力の高い診療能力を持った内科医の育成を目指しています。



プログラム統括責任者 聖隷三方原病院 循環器科部長 若林 康

## 2 目的

静岡県にとどまらず、超高齢社会を迎えた日本を支える内科専門医として、

- ①高い倫理観を持つ
- ②最新の標準的医療を実践する
- ③安全な医療を心がける
- ④プロフェッショナリズムに基づく患者中心の医療を提供する
- ⑤臓器別専門性に著しく偏ることなく全人的な内科診療を提供する
- ⑥チーム医療を円滑に運営できる

上記を実践できる内科専門医の育成を目指した研修を行います。

## 3 研修病院群

### (1) 専門研修基幹施設

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

### (2) 専門研修連携施設

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院

浜松市国民健康保険 佐久間病院

袋井市立聖隷袋井市民病院

医療法人弘遠会 すずかけセントラル病院

医療法人弘遠会 天竜すずかけ病院

医療法人社団心 坂の上ファミリークリニック

医療法人社団心 坂の上在宅医療支援医院

## 4 専攻医受入数

8名/年

## 5 研修期間

3年

## 6 研修計画（例）

### 内科総合コースⅠの選択例（全科網羅型）

研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	総合1			呼吸器内科			総合2			消化器内科		
2年次	連携施設						特別連携施設					
3年次	総合3			循環器科			選択(ホスピス科)			選択(循環器科)		

### 内科総合コースⅡの選択例（地域医療重視型）

研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	総合2			循環器科			消化器内科			総合1		
2年次	連携施設			特別連携施設			特別連携施設			特別連携施設		
3年次	総合3			呼吸器内科			選択(救急科)			選択(連携)		

### 内科サブスペシャリティコースの選択例（総合+サブスペ型）

研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	呼吸器内科	総合2			消化器内科		総合1		循環器科	選択(総合3)		
2年次	連携施設									特別連携施設		
3年次	Subspecialty領域選択											

### 内科サブスペシャリティコースの選択例（サブスペ最重視型）

研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	総合1		呼吸器内科		総合2		循環器科		総合3		選択(ホスピス)	
2年次	連携施設(内科0-7 or Subspecialty)									特別連携施設		
3年次	Subspecialty領域選択											

※連携施設： 聖隷浜松病院、袋井市立聖隷袋井市民病院

※特別連携施設：浜松市国民健康保険佐久間病院、すずかけセントラル病院、天竜すずかけ病院  
坂の上ファミリークリニック/坂の上在宅医療支援医院

※選択：ホスピス科、救急科、化学療法科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科での選択研修  
専攻医の希望内科領域研修、専攻医の研修が不足している場合の充足研修に活用

※上記はあくまで例であり、実際のローテートは専攻医の進捗や連携施設状況等により調整が行われます。  
内科研修の充足状況により、連携施設からSubspecialty領域研修も可能です。

当プログラムの研修は4つのコースからなります。

内科における各領域をじっくりと経験し、総合力の高い内科医を目指す内科総合コースⅠ  
将来的に地域医療に従事したい方向けの内科総合コースⅡ、Subspecialty 専門医研修を早期に開始したい方向けの内科サブスペシャリティコース（総合+サブスペ型、サブスペ最重視型）の4つから、それぞれの専攻医の将来設計に合わせた形でコースを用意しています。また、内科総合コースⅠの一つとして、内科専門医と緩和医療専門医を目指すプログラムも用意しています。

## 7 問い合わせ先

聖隷三方原病院臨床研修センター

E-mail: mk-kensyu@sis.seirei.or.jp

Tell: 053-439-1381

HP: <http://www.seirei.or.jp/mikatahara/>